

豊かな自然と歴史のこころがつくる活力のあるまち

とえだ

広報

Soeda
Public
Relations



祝成人



二十歳になりました！

FEB. 2016

2

No.652

祝 成人

1月10日、新成人がオークホールに集い、平成27年度成人式が行われました。今年度の対象者は94人。当日は72人が出席し、節目となる1日を迎えました。大人への一歩を踏み出した新成人の目は、夢と希望に満ち溢れていました。



①少し緊張した様子で式典に臨む新成人たち ②華やかな振り袖に身を包みオークホール前で記念撮影 ③式典では、中学生時代の懐かしいスライドショーが行われました ④～⑫式典を終え、友人や恩師と記念撮影を楽しむ新成人たち ⑬新成人へ祝辞を述べる寺西町長

穏やかな気候となった1月10日、オークホールで、成人式が行われました。会場には、色とりどりの華やかな振り袖や、真新しいスーツに身を包んだ新成人72人が集い、進学や就職などでそれぞれが違う道を歩んでいる旧友との再会を喜び、いたるところで笑顔が見られました。

式典では、寺西明男町長が「皆さんと一緒に、町と人が連携したまちづくりをしたい。添田を離れてしまった人も、ふる里添田町を胸に刻み、各地で活躍していつてほしい」と新成人を激励。また、来賓や中学時代の恩師3人からも、心温まる祝福の言葉が送られ、新成人たちは真剣なまなざしで静かに耳を傾けていました。式典後半では、中学生時代の体育祭や文化祭、修学旅行などの写真のスライドショーが行われ、当時を思い出し、笑い合っていました。最後に、新成人代表として、万怜真さんが「新成人としての自覚と責任を持ち、それぞれの夢に向かって頑張っていけます」と、力強く謝辞を述べました。

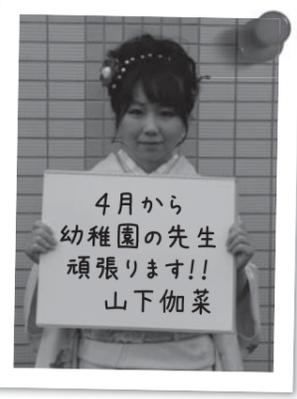
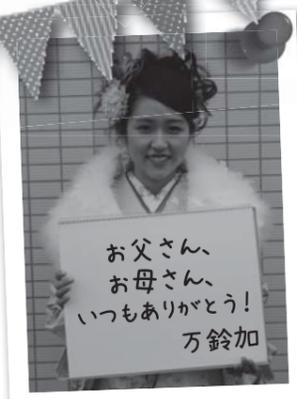
式典後は、恩師や友人とデジタルカメラやスマートフォンなどで写真を撮り合い、思い出話に花を咲かせ、有意義な時間を過ごしていました。



謝辞を述べる万怜真さん

二十歳のことば

節目を迎え一言どうぞ!





台

風の影響で、初めて冬休みの実施となった31回目の少年アドベンチャー。今年度は、12月25日から29日までの4泊5日の日程で沖縄本島へと旅立ちました。12月25日の早朝、オークホールで出発式を行い、夜明け前の薄暗い中、家族に見送られながら、一行は添田町を出発しました。

まず最初に向かったのは、沖縄戦終焉の地である南部地域。ここでは、ひめゆりの塔を見学し、糸数アブチラガマへ向かいました。ガマとは沖縄各地にある自然洞窟で、ここは沖縄戦の当時、住民の避難場所だけでなく、陸軍病院の分室にもなり、多くの住民と負傷兵で埋め尽くされていた場所です。団員たちは、懐中電灯を片手にガマへ入壕。ひめゆり学徒隊や住民が看護活動をおこなっていた場所には、懐中電灯を消すと真っ暗になり、天井から落ちるしずくの音だけが聞こえてきました。戦争の恐ろしさ、悲惨な歴史を肌で感じた団員は、戦没者の冥福と世界平和を願いながら、慰霊碑に自分たちが作った千羽鶴を供えました。

ホテルでは、夕食後に語り部さんによる戦争体験者の証

ある今帰仁城を見学しました。今帰仁城は、13世紀頃に築城された県内最大級の城で、東シナ海が一望できます。団員たちは景色を眺めたり、記念撮影したりして、青い海と城壁の織りなす絶景を楽しんでいました。翌日は、宿泊場所のあいあいファームで食育とものづくり体験をしました。まずは、伊江島の小麦を使った沖縄そばの麺づくり。小麦を練った生地をめん棒で伸ばし、細く切って完成です。次は、無添加無着色のソーセージづくりに挑戦。初めての体験にとまどいながらも、みんなで協力し、上手に出来上がりました。お菓子づくりでは、沖縄の揚げ菓子、サターアーンダーギーを作り、揚げたてを試食しました。

この日の夕食には、自分たちが作ったソーセージや沖縄そばが食卓に並びました。「上手に出来てよかったね」と笑顔で語っていました。

4日目、沖縄の古い民家を移築した野外博物館の琉球村で、沖縄の唄や踊り、獅子舞などのアトラクションを見学。最後は曲に合わせて、会場のみんなでカチャーシーを踊るなど、琉球文化に触れることができました。

冬の沖縄で仲間と最高の思い出

団体生活を通じて互いの交流を深め、仲間と協力することの大切さや思いやりの気持ちを育む少年アドベンチャー。今年度は、台風15号の影響で、初めての冬休みの実施となりました。団員たちは12月25日から29日までの4泊5日の日程で沖縄本島を訪問し、仲間と最高の思い出をつくりました。



伝統的な漁船のサバニに乗船



↑朱色に輝く琉球王国のシンボル、堂々とした風格を漂わせる首里城正殿の前で記念撮影。団員たちは沖縄の自然や琉球文化に触れ、友情を深めました



1



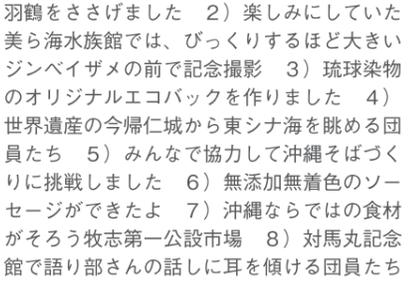
2



3



4



5



6



7



8



8

1) 糸数アブチラガマでは、平和を願い、千羽鶴をささげました 2) 楽しみにしていた美ら海水族館では、びっくりするほど大きいジンベイザメの前で記念撮影 3) 琉球染物のオリジナルエコバックを作りました 4) 世界遺産の今帰仁城から東シナ海を眺める団員たち 5) みんなで協力して沖縄そばづくりに挑戦しました 6) 無添加無着色のソーセージができたよ 7) 沖縄ならではの食材がそろった牧志第一公設市場 8) 対馬丸記念館で語り部さんの話に耳を傾ける団員たち

た。また戦時中、学童疎開船の対馬丸が撃沈された歴史を今に伝える対馬丸記念館では、自分たちと同年代だった多くの児童が、戦争の犠牲になったことを知り、平和と命の尊さを考えました。次は、沖縄一の繁華街である那覇市の国際通りで、班別研修です。沖縄の台所、牧志第一公設市場では、沖縄でしか見られない珍しい魚や初めて見る食材に驚きました。団員たちは、お土産を両手いっぱい抱え、待ち合わせの夕食場所のステーキハウスに集合。大きな鉄板の前で、コックによる見事なナイフさばぎのパフォーマンスとステーキを堪能しました。いよいよ最終日、幕末までの450年間、栄華を極めた琉球王国のシンボルである世界遺産の首里城に行きました。鮮やかな朱塗りの首里城正殿は、息を飲むほどきれいなものでした。4泊5日、団員たちは、沖縄の大自然の中で新しい仲間と寝食を共にしながら、数多くの体験をして友情を深めることができました。この5日間での回り大きく成長した団員たちには、2015年の最高の思い出ができたようでした。

言を聞きました。短い時間でしたが、団員たちは、悲惨な戦争の話に真剣に耳を傾け、自分たちの生活がどんなに平和で幸せなことが感じることができました。快晴となった2日目、みんなが楽しみにしていた美ら海水族館で、巨大な水槽の中を泳ぐジンベイザメとご対面。また、イルカショーでは、36歳になるイルカのおきちゃんのパフォーマンスに感動しました。もとぶ元氣村では、沖縄ならではの体験活動をしました。まずは、沖縄の伝統的な小型漁船のサバニに乗船。青い空の下、コバルトブルーの海で、力を合わせてサバニを操縦し、どの船が早く漕げるか競争しました。透き通るような沖縄の海に団員たちの笑顔がまぶしく輝いていました。次の体験は琉球文化の染物である紅型体験。好きな絵柄を選んで色付けし、カラフルなエコバックが出来上がりました。最後の体験は陶芸用粘土を使って、沖縄の守り神のシーサー作りに挑戦。個性的なシーサーの焼き上がりが楽しみです。もとぶ元氣村を後にして、次は、ユネスコ世界文化遺産で

平成28年度からの町・県民税の主な改正点

▶ 所得税の最高税率引き上げによる「ふるさと寄附金」の特例控除額の算定方法の改正

平成25年度税制改正において、平成27年分以後の所得税の最高税率が40%から45%に上げられたことに伴い、平成28年度以後の寄附金税額控除（ふるさと寄附金）に係る特例控除額の算定に用いる所得税の限界税率を課税所得金額4,000万円超の場合は、45%とすることとされました。

	住民税適用課税年度	ふるさと寄附金の特例控除額の計算方法
改正前	平成26年度～27年度	(寄附金額－2,000円) × [90%－(0%～40%(所得税の限界税率) × 1.021)] × 特例控除割合
改正後	平成28年度～	(寄附金額－2,000円) × [90%－(0%～45%(所得税の限界税率) × 1.021)] × 特例控除割合

特例控除額の上限が、平成27年度税制改正で平成28年度から所得割割（調整控除後の所得割）の10%から20%に拡充されることとなりました。

▶ 個人住民税における公的年金からの特別徴収制度の見直し

▷ 仮特別徴収税額の算定方法の見直し（仮特別徴収税額の平準化）

平成25年度税制改正で、年間の徴収税額の平準化を図るため、仮特別徴収税額（仮徴収税額）を「前年度分の公的年金等に係る所得割額と均等割額の合算額（年税額）の2分の1に相当する額とする」こととされました。

適用時期 平成28年10月1日以後に実施する特別徴収から適用

【公的年金からの特別徴収税額の計算方法（年金特徴継続者）】

継続者	仮徴収			本徴収		
	4月	6月	8月	10月	12月	翌年2月
現 行	前年度分の本徴収額 ÷ 3 (前年2月と同じ額)			(年税額－仮徴収額) ÷ 3		
改 正	(前年度分の年税額 ÷ 2) ÷ 3			(年税額－仮徴収額) ÷ 3		



【補足】
この改正は、仮特別徴収税額（仮徴収額）の算定方法の見直しを行うものであり、税負担となる年税額の増減を生じさせるものではありません。

■ 各種税の申告と納付の期限を忘れずに

- ▶ 所得税・贈与税＝3月15日☎まで
- ▶ 個人事業者の消費税と地方消費税＝3月31日☎まで

■ 振替納税を利用している人の振替日

- ▶ 所得税＝4月20日☎
 - ▶ 個人事業者の消費税・地方消費税＝4月25日☎
- ※新たに振替納税を利用する場合は「預貯金口座振替依頼書」の提出が必要です。

■ 簡単便利な振替納税

確定申告後、納付書をもっていただく、うっかり払い忘れていた。銀行が遠くて行くのが大変。納付期限を過ぎてしまうと利子税（延滞金）が発生することもあります。口座振替にしておけば、引き落とし日の前に、お金を通帳に入れておだけ。



簡単・確実に払い忘れることもありません。口座振替をご利用になると、納期限にゆとりができます。

■ 軽自動車税

125cc以下のバイクやトラクターなどを登録して、現在所有していない人は、ナンバープレートと印鑑を持って、3月31日☎までに廃車の手続きをしてください。



■ 町税完納にご協力をお願いします

平成27年度の町県民税や固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税（7期）の納期限が終わりました。納め忘れの税がないか確認し、町税完納にご協力ください。納付書を紛失した場合は、役場住民課税務係までご連絡ください。税や申告で不明な点は、いつでも気軽に役場住民課税務係（☎82-1234）まで相談してください。



忘れずに早めの申告をお願いします！

確定申告



今年も税の申告の時期になりました。障害年金や遺族年金を受給している人、収入がなく扶養になっている人も申告が必要な場合がありますので、期間中に役場で申告を行ってください。

役場での受付期間 >>> 2月16日☎～3月15日☎

申告会場 ▶ 役場1階特1会議室 8時30分～17時15分(土・日は除く)

■ 休日も申告を受け付けます 2月21日☎、28日☎ 9時～16時

役場では申告期間中、上記休日の申告を受け付けます。平日に申告できない人は、ぜひ来庁してください。

田川税務署での受付期間 >>> 2月16日☎～3月15日☎

申告会場 ▶ たがわ情報センター 9時～16時(土・日は除く)

■ 町県民税の申告をしなければならない人

- ▶ 平成28年1月1日現在、添田町に居住している人
- ▶ 平成27年中に営業、農業、不動産などの所得がある人
- ▶ 給与所得者でも日給などで働き、役場に事業主から給与支払報告書が提出されていない人

■ 申告に持ってくるもの

- ▶ 印鑑、給与や年金などの源泉徴収票や収入のわかるもの
- ▶ 営業・農業所得等の収支明細書
- ▶ 生命保険料・個人年金保険料・介護医療保険料・国民年金保険料・地震保険料(旧長期損害保険含む)などの支払証明書
- ▶ 医療費控除のある人は医療費の領収書や保険金などで補てんされる金額の明細書
- ▶ 障害者控除のある人は身体障害者手帳など

■ 公的年金受給者や国保加入者は特にご注意ください

- ▷ 所得税では通常、給与所得以外の所得が20万円以下の人や公的年金合計額が400万円以下で、それ以外の所得が20万円以下である場合は、確定申告をする必要がありませんが、町県民税では必ず申告が必要です。
- ▷ 国民健康保険に加入している世帯は、所得がない場合

でも必ず申告しなければなりません。申告をしない場合は、所得証明書の交付や国民健康保険税の軽減措置が受けられませんので注意してください。

■ 申告は便利な e-Tax をご利用ください

e-Tax(国税電子申告・納税システム)は、自宅やオフィスなどからインターネットなどを利用して、申告や申請、届出などができる便利なシステムです。

● 添付書類の提出を省略

医療費の領収書や源泉徴収票などはその記載内容を入力して送信することで、提出や提示を省略することができます。(確定申告期限から5年間、書類の提出や提示を求められることがあります)

● 還付金がスピーディー

e-Tax で申告された還付申告は書面申告と比べて、早期に処理をしています。

※ e-Tax の利用には事前登録が必要です。詳しくは e-Tax のホームページ (<http://www.e-tax.ntago.jp>) をご覧ください。



【 所得税に関する問い合わせ / 田川税務署個人課税部門 ☎ 44-0430 】

【 町県民税に関する問い合わせ / 役場住民課税務係 ☎ 82-1234 】



身近なまちの話題について情報をお寄せください。
広報紙に掲載された写真は差し上げますので、お気軽にお問い合わせください。



みんなに愛され迎えた10年の節目

平成27年度二分の一成入式

町内各小学校で、今年度10歳になる小学校4年生を対象に、二分の一成入式が行われました。1月22日の真木小学校では、保護者が見守る中、7人の児童が、



↑最後は全員に二分の一成入証書が手渡されました

家族に対する10年間の感謝の気持ちや「警察官になって、たくさんの人を守りたい」といった将来の夢など、普段なかなか言えないことを、作文にして発表しました。

希望進路合格を目指し、温かい激励

添田中学校おやじ会

添田中学校で1月9日、3年生の希望進路合格を願い、添田中学校おやじ会(金子修治会長)が受験生に手作りの豚汁を振る舞いました。愛情のこもった温かい豚汁を味わい、試験に向けて気を引き締め直した生徒たち。金子会長は「体調を万全に整えて、志望校合格に向けて頑張ってください」とエールを送っていました。



↑手作りの豚汁を食べて目指すは希望進路合格です

家族や地域の皆さんと一緒に楽しむ

高齢者施設でクリスマス会

昨年の12月25日、グループホームみかんの木で入所者や家族、地域の皆さんが参加してクリスマス会が行われました。食事や落語、クリスマスプレゼントの



↑参加者にはサンタクロースから素敵なプレゼント

あたる抽選会などを楽しむ参加者の皆さん。また、清水十六子さん(町三)によるエプロンシアターが披露され、子どもからお年寄りまで楽しい時間を過ごしていました。

アイデアあふれる手作りのおもちゃ

児童館「木のおもちゃで遊ぼう」

1月22日、育児サークルの親子や保育園児を対象に、木のおもちゃ工房「あおむし」の湯元桂二さんによる「木のおもちゃで遊ぼう」が行われました。ユニークな動きの人形や木のおもちゃによる人形劇に歓声をあげて喜ぶ子どもたち。実際に色々な仕掛けのある木のおもちゃに触れると、夢中になって遊んでいました。



↑楽しい工夫と仕掛けがたくさんある木のおもちゃ

冷たい川で心身を鍛えて必勝を祈願

田川修武会が寒稽古

空手道場・田川修武会の寒稽古が1月8日、歓遊舎ひこさん前の彦山川で行われ、新年恒例の行事に子どもから大人まで約40人が参加しました。道場から約3キロのランニングの後、男子は上半身裸、女子はTシャツ姿で冷たい水の流れる川に入り、号令にあわせた気合いの突きと掛け声で、心と身体を鍛えていました。



↑お腹の底から声を出し、寒さを吹き飛ばしました

わたしたちの生活に欠かせない税金

添田小学校で租税教室

添田小学校6年生を対象に1月22日、税の意義や役割を正しく理解してもらおうと役場税務係職員による租税教室が開かれました。もしも税金が無くなる



↑1億円の重さを持ち上げて、お金の大切さを実感

とどんな社会になるかを紹介するアニメの視聴や1億円の重さを持ち上げる体験をした児童たち。わたしたちの暮らしが税金で支えられていることを実感していました。

↓九州大会でも、添田フレンズ伝統のチームワークを発揮して、優勝目指します



伝統のチームワークで優勝目指す

添田フレンズが九州大会出場

小学生ドッジボールチームの添田フレンズが1月17日、福岡市で開催された2015春の福岡県小学生ドッジボール選手権で6位入賞を果たし、九州大会出場を決めました。県内47チームが参加した県大会では、予選リーグを全勝で突破した添田フレンズ。準々決勝では、強豪チームと熱戦となり惜しくも敗れましたが、6位で3月6日に宮崎市で行われる春の小学生ドッジボール選手権九州大会への出場が決定しました。「練習の成果を発揮して、チームワークで優勝目指します」と九州大会の意気込みを語った中元寺小学校6年生の井手上佳澄さん。寺西町長は「添田フレンズの伝統を受け継いで、悔いの無いように頑張ってください。そして再び良い結果を聞かせてください」と激励しました。

地域防災の要として、決意を新たに

添田町消防団出初式

防災への決意を誓う添田町消防団(田中久美男団長)による出初式が1月10日、そえだドームで行われました。式では、消防団員たちが機敏な動作で服装点検や少年防火クラブ、婦人防火クラブも参加して息の合った分列行進を披露。また、消防活動功績者表彰や退団・入団などの辞令が交付されました。式典終了後の第6分団によるポンプ操法模範演技では、寒空の中、きびきびとした演技に拍手が送られ、消防団員らは、地域の要となるよう総合防災力を高める決意を新たにしていました。



↑第6分団によるポンプ操法模範演技

↓各分団員が号令に合わせ、きびきびと動き服装点検や分列行進を披露した出初式



↓「パティシエになりたい」という将来の夢への希望や不安を語った緒方梨乃さん



6年後の自分へ届けたいメッセージ

添田中学校立志式

義務教育9年間を通して夢や希望を持つ子どもを育てることを目的とした「そえだドリームプロジェクト」の一環で、1月15日、添田中学校2年生がオークホールで立志式を行いました。「二十歳のキミへ」をテーマに6年後の自分に宛てたメッセージを、代表して6人の生徒が発表。また、骨肉種で余命半年を宣告されても前向きに生き、中学2年生で亡くなった猿渡瞳さんの母、直美さんが講演会を行い「無限の力を皆さんは持っている。どんな困難も乗り越えてください」と話しました。



↑瞳さんからのメッセージを届けました

2月生まれ
HAPPY BIRTHDAY
おめでとう



りあん
高木 悠杏ちゃん
2月22日生 ④・新城

悠杏の笑顔で家族みんなも嬉し
こり！これからもいっぱい笑顔
見せてね♪父・母・姉より



れみか
松嶋 怜美花ちゃん
2月3日生 ②・豊川

れみちゃん2才おめでと♡これ
からも元気がかわいい姫であっ
てね♡大好きよ♡



ひまり
佐藤 陽莉ちゃん
2月11日生 ②・英彦山

大好きなひまりちゃん！お誕生
日おめでとう！これからもひま
りちゃんのキラキラ笑顔の花が
いっぱい咲きますように！

3歳までの
お子さん募集中！

3月生まれは、
2月15日
までです！！



お子さんの写
真とメッセージ
を添えて、役場情報広報課
(☎ 88-8444) まで提出して
ください。

子どもの喜ぶ顔を思い描きながら
布の絵本づくり

町立図書館で、1
月に全3回の日程で
布の絵本作りが行わ
れました。約10人が
参加し、フェルトを
使って、愛情いっぱ
いの手作り絵本「い



↑触っても取れないようしっかり縫います
もむしくんのおさんぽ」を作成しました。参加した人は
「子ども、孫を思って作りました」と話していました。

ペタンペタン、楽しいもちつき
児童館もちつき大会

昨年12月26日、
児童館でもちつきが
あり、子どもたちと
シニアパワーアップ
塾の皆さんが、約12
キロのもちをつきあ
げました。子どもた



↑大きな杵で、元気よくおもちをつきました
ちは、シニアパワーアップ塾の皆さんから教わりながら、
ペタンペタンと楽しそうにもちをついていました。

休日開庁し交付を実施します

マイナンバーの
休日受け取り実施

役場に返戻されている「マイナンバー通知カ
ード」の受け取り、申請した人への「個人番号カ
ード」の交付を、次の日程で休日開庁し、実施します。
平日に受け取りできない人は来庁してください。

▶休日開庁日 **2月28日(日) 9時~16時**

▶交付場所 添田町役場 1階会議室

●通知カード受け取りに必要なもの

- ①本人確認書類（運転免許証やパスポートなど
顔写真付きの書類1点、または国民健康保険
証、年金手帳などを2点）
- ②印鑑
- 個人番号カード受け取りに必要なもの
- ①交付通知書（添田町役場から発送されたはがき）
- ②通知カード
- ③住民基本台帳カード（持っている人のみ）
- ④本人確認書類（運転免許証やパスポートなど
顔写真付きの書類1点、または国民健康保険
証、年金手帳などを2点）
- ⑤印鑑

※個人番号カードの受け取りは本人来庁が原則で
す。やむをえない理由で来庁が難しい場合は、事
前に役場へ問い合わせください。

☎ 役場情報広報課情報推進係 (☎ 88-8444)
住民課戸籍住民係 (☎ 82-1233)

●空き家バンク制度とは

「空き家を誰かに売りたい、貸したい人」、「空き家
を買いたい、借りたい人」の情報登録を行い、相互
に情報を共有することができる制度です。空き家と
は、個人が居住を目的として建築し、現に居住して
いない町内に存在する建物とその敷地のことを言
います。

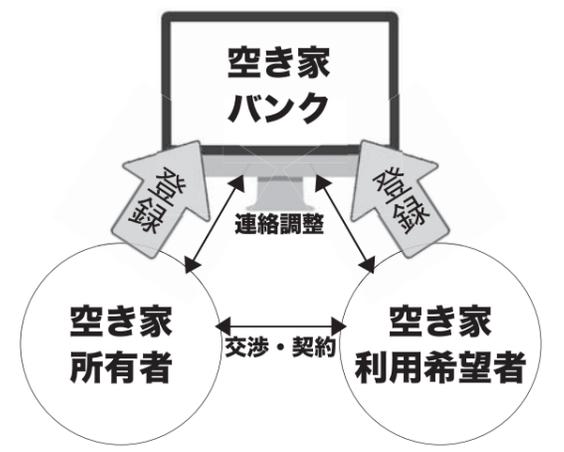
●空き家バンクへの登録とは

- 物件を登録する
空き家と土地の登記簿上の所有者で、登録する空
き家の売買または貸借などを行うことができる人が
登録できます
- 利用の登録をする
空き家に定住、または定期的に滞在して、添田町
の自然環境、生活文化などに対する理解を深め、地
域住民と協調して生活できる人。また、経済、教育、
文化、芸術活動などを行うことで、地域の活性化に
寄与できる人が登録できます

空き家は、防犯、防災、景観など、さまざまな面
で問題となっています。町内に住まなくなった家
をお持ちの皆さん、空き家を有効活用してみませんか。
気軽に相談してください。

○あなたが町内に所有している空き家を有効活用
**空き家バンクに
登録しませんか**
☎ 役場まちづくり課総合調整係 (☎ 82-5965)

町では、町内の空き家を有効活用し、定住の促
進により地域の活性化や町民と都市住民の交
流拡大を図るために「添田町空き家バンク」制度を
行っています。「空き家を誰かに売りたい、貸したい」
と考えている空き家所有者や、「空き家を買いたい、
借りたい」と考えている人、添田町へ移住定住を考
えている人は、空き家バンクに登録しませんか。



文芸歳時記

【川柳 添田番傘川柳会】

あの涙ふっ切れなくてまだ残り
やわらかい言葉の中に針一つ
茶柱が浮いて電話がしたくなる
心の灯消さずロマンを持ち続け
札束を積んで開いた狭き門

濱田イサオ
奥田ミヨ子
伊川トシエ
中村ヤス子
諫山 速人

【俳句 添田福寿句会】

恙無く健康維持の去年今年
ほのぼのと目覚めし類に初明り
待春の大地うごめく気配あり
温暖化児達の知らぬ霜柱

熊谷トシエ
鶴原 幸江
渡辺 恵美
安藤はじめ

【俳句 天籟通信添田句会 大池青湖選】

無愛想な師走の風が背を叩く
一年の流れは速し石路の花
返り花そこに亡き夫居るような
天界と地上をつなぐ林檎かな
音たてて鷺の飛び立つ冬田かな
あの人と微妙に間をおく日向ぼこ
京漬を噛めばしぐれの音がする

諫山 静香
安永 藻香
石谷タツ子
牧野八寿子
松尾 揚子
森田 竹子
大池みどり

【短歌 春扇短歌会 筑紫支社】

三年連記の日記を書きて六冊目
一月一日謹みて記す

大塚 成子

川に来て見上ぐる冬の空に立つ

飛行機雲は今しほぐれつ

五十嵐田鶴

孫達は吾が背を越えて大人らしく

お年玉には愛らしさ戻る

平井 朝子

裏庭ゆカボス採り来て酔を搾る

娘や孫の顔を思ひて

木村 寛子

【俳句 投稿】

冬ざれや種火のごとき駅舎の灯
少年の手の放ちたる叩き独楽
子供等にゆずれぬ一步絵双六

立花 克明
島津余史衣
柴田 一世

学校・教育

福岡県学習支援事業

▼期間 2月17日(日)から3月30日
日曜までの毎週水曜17時〜18時
時間半程度／費用無料

▼対象者 町内に住む小学3年生〜6年生

▼学習支援内容 学校の予習復習などの基礎的学習や、日常生活習慣の形成と育成



▼募集人数 10人程度／要申込
※進学のための学習主体の教室ではありません。送迎なし。
福岡県学習支援事業受託団体 特定非営利活動法人ワーカーズコープ 梶山・大倉
(☎080-8954-2051)

添田町就学援助費交付制度

町内の小・中学校に在籍する児童・生徒で、経済的な理由で学用品や給食費などの負担が困難な状況にある世帯に対し、認定要件に該当する場合に、費用の一部を援助します。
※認定要件の基準額は、世帯構成の人数や年齢などで異なります。

書(運転免許証、各種障がい者手帳など)が必要となりました。必要書類など、詳しくは問い合わせください。
☎ 082-1232

後期高齢者の健康診査は毎年受けましょう

後期高齢者医療制度の被保険者を対象に、生活習慣病の予防および早期発見・早期治療を目的に健康診査を実施しています。受診期限は、平成28年3月末です。まだ受診していない人は、実施医療機関などで早めに予約の上、受診してください。

保健・福祉

女性特有がん検診の受診を忘れていませんか

働く世代の女性支援で、がん検診をより一層推進するため、子宮頸がんおよび乳がんの無料クーポン券を発送しています。クーポン券の有効期限が平成28年2月28日までとなっておりますので、早めに受診してください。
▼対象者 【乳がん検診】平成26年4月2日から平成27年4月1日までに40歳になった人
【子宮頸がん検診】平成26年4月2日から平成27年4月1日までに20歳になった人
※乳がん検診、子宮頸がん検診ともに平成22年度と平成25年度に実施したがん検診推進事業で無料クーポン券の配布を受けたが未受診の人も対象です(※対象)

また、状況により交付できない場合がありますので相談ください。
※助成額などの詳細は、町ホームページにも掲載しています。
▼申込期限 3月18日(金)
☎ 082-5963

受診には、「被保険者証(保険証)」と広域連合が郵送した「受診票」、自己負担金500円が必要です。受診票が見当たらない場合は、再発行しますので問い合わせください。ただし、生活習慣病(糖尿病や高血圧症など)で治療中の人は受診の対象となります。
福岡県後期高齢者医療広域連合 合同問い合わせセンター
(☎092-651-3111)

献血にご協力をお願いします
▼とき 3月8日(日) 10時〜12時30分、13時30分〜16時
▼ところ 役場1階 ロビー

忘れず申請をお願いします

4月から小学生のお子さんは手続きを



4月から小学校に入学するお子さんは、子ども医療制度が適用されるため、乳幼児医療からの切り替えが必要です。また、重度障害者医療制度、ひとり親家庭等医療制度に該当するお子さんについては、それぞれの医療制度が適用され、乳幼児医療から引き続き、医療機関窓口での一部負担金が無料になります。

【必要な手続き】

- 対象者となる小学校新1年生(生活保護世帯を除く)に認定申請書を送付しますので、下記のとおり申請してください。申請受け付け後、3月末に医療証を送付します。申請をしていない場合、医療費は3割負担となりますので、必ず申請してください。
- 受付期限 2月26日(金)
- 受付場所 子ども医療・重度障害者医療 → 役場住民課保険年金係(④番窓口)
ひとり親家庭等医療 → 役場保健福祉環境課子育て支援係(②番窓口)
- 必要なもの 印鑑、お子さんの保険証、申請書

☎ 082-1143
☎ 082-5966
☎ 082-1232

象年度以外に集団検診で受診した人は対象外)
▼受診方法 医療機関で個別に予約をして受診してください。クーポン券が使用できない医療機関もありますので、不明な点は問い合わせください。
福岡県保健福祉環境課健康対策係
(☎088-8111)

身近なこと、気軽に相談してください

人権擁護委員に2人が委嘱されました

平成28年1月1日付けで、次の2人が人権擁護委員として法務大臣から委嘱されました。人権擁護委員は、人権尊重の各種啓発活動を行っていて、家庭や近隣とのもめごとなどの人権相談に応じます。相談は無料、秘密は厳守されますので、気軽に相談してください。



岡古谷芳男さん (上落合一) (☎85-0453)



岡木森光彦さん(野田) (☎82-1143)

遣する制度を実施しています。

▼対象 自宅のバリアフリー改修工事を検討している人

▼費用 無料

☎ 082-781-5169

住宅

一般競争(指名競争)入札参加資格申請

▼受付期限 3月31日(木)
▼必要書類 町ホームページに掲載している要綱を参照して

ください

福岡県保健福祉環境課健康対策係
(☎082-1235)

県営住宅入居者募集

▼募集住宅 県内に所在する県営住宅(募集対象団地や募集戸数などの詳細は募集案内書を確認ください)
▼募集案内書の配布と受付期間 2月29日(日)〜3月8日(火)
▼募集案内書配布場所 役場住環境整備課、県内の各市役所・町村役場ほか

福岡県住宅供給公社県営住宅管理部管理課
(☎092-781-8029)



教育のひろば

町の教育行政の柱となる「添田町教育大綱」を昨年12月24日に町長、教育委員との協議の場である総合教育会議で決めました。今後は「添田町教育大綱」のもと、教育施策を推進していきます。

添田町教育大綱「豊かな心と生きる力が育まれ、文化が躍動するまちづくり」

平成27年4月1日に総合教育会議を設置。会議では、大綱の策定、教育条件の整備など重点的施策について町長と教育委員会が協議・調整を行います。また、この教育大綱では町の教育、学術や文化の振興に関する総合的な施策を定めることになっています。

添田町「第5次総合計画」の教育に関する政策目標を教育行政の基本的な大綱と位置付け「人権の尊重」「学校教育の充実」など5つの教育方針を継続して推進していきます。総合教育会議の議事録は、随時、町のホームページで公表します。

第4回添田町教育講演会 「子どものネット問題を考える」

インターネットは便利な反面、危険性が社会問題となっています。添田町の子どものスマートフォンなどの利用時間は全国平均を大きく上回っています。ネットによるいじめなどの被害は確認されていませんが、学力低下の一因とも思われます。子どもと一緒に上手なインターネットの使い方を考えてみませんか。

▶とき 2月20日(日)14時(開場13時30分)
▶ところ オークホール / 入場無料
▶演題 「子ども達を取り巻くネット環境」
～Twitter・LINE・スマートフォンの危険性～



講師 安川雅史(全国webカウンセリング協議会理事長)
※日本テレビ「NEWS ZERO」「スッキリ!!」NHK「クローズアップ現代」などに出演。全国各地で講演会を行う。

※講演会前に、活躍している町内の子どもを表彰する「がんばり子ほめ運動」表彰式を行います。

☎ 082-5963

人の動き

- 12月末日現在()は前月比
- 人口 10,539人(-12人) ●出生 4人
 - 男性 4,963人(+1人) ●死亡 13人
 - 女性 5,576人(-13人) ●転入 18人
 - 世帯数 4,859世帯(+2世帯) ●転出 21人

相談

- 心配ごと相談 (そえだジョイ/10時~15時)
2月16日(日)・3月1日(日)
 - 補聴器相談 (役場ロビー)
2月10日(日)(13時~) / 12日(日)(15時~)
 - 女性の健康相談・不妊相談 (福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所/要予約)
3月2日(日)(13時30分~16時30分)
- ☎ 福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所健康増進課健康増進係 (☎ 0948-29-0277)

事件事故発生状況

12月の事件発生状況 ()内は昨年同月比		
種類	発生件数	今年の累計
自動車盗・オートバイ盗	0(±0)	0(-1)
性犯罪	0(±0)	2(+1)
車上ねらい	0(-1)	3(±0)
空き巣・忍び込みなど	0(±0)	8(-11)

12月の事故発生状況 ()内は昨年同月比		
種類	発生件数	今年の累計
事故発生(物件+人身)	18(-3)	179(+20)
死亡者	0(±0)	0(±0)
負傷者	7(-3)	44(+3)

学童保育所児童募集

- 入所対象者 平成28年度に、添田小学校、落合小学校、真木小学校、中元寺小学校に在籍する児童で、放課後家庭で保育できない事情がある児童
 - 実施場所 ▷そえだ学童保育所(添田小学校内)▷落合学童保育所(落合小学校内)▷真木学童保育所(旧真木幼稚園)▷中元寺学童保育所(中元寺公民館)
 - 申し込み方法 各学童保育所で受け付けます
- ☎ 役場保健福祉環境課子育て支援係 (☎ 82-1232)

編集後記

▶1月は太宰府などに初詣に行ってきました。人が多いのはもちろんなのですが、外国人観光客の多さに驚かされました。平和に過ごせましたが大寒波到来。「普通」の有難さを痛感です。(水上)

町民バドミントン大会

- とき 3月13日(日) 9時開始(受付8時30分~)
 - ところ 町体育館(中級者・初級者別で実施)
 - 参加資格 町内在住・在職者や町内体育施設で活動をしている人(参加無料)
 - 申込期限 3月7日(日)
- ☎ 教育委員会社会教育課生涯教育係 (☎ 82-5964)



農地の貸し借りを推進 利用権設定について

町では、意欲ある担い手を育成し、農業生産の合理化・効率化などで生産コストの低減を図るため、農業経営基盤強化促進事業で農地の貸し借りを推進しています。

- 市内で行われる審議会に出席できる人
 - ▼募集人数 4人
 - ▼期間 委嘱の日から2年(6月委嘱予定)
 - ▼募集期限 2月26日(日)
 - ※応募方法など、詳しくは問い合わせください。
- ☎ 福岡県新社会推進部男女共同参画推進課 (☎ 092-643-3391)



役場地域産業推進課 農業振興係

☎ 82-1237

- ▼出し手のメリット
 - ▼貸した農地は期限が来れば、離作料を支払うことなく必ず返ってきます
 - ▼受け手のメリット
 - ▼経営規模の拡大が図れます
 - ▼貸借期間中は安心して耕作できます。また、再設定で継続して借りられます
- ☎ 受付期間 2月1日(日)~29日(日)

- ### 「解雇・雇止め」集中相談会
- ▼とき 2月24日(日)・25日(日) 9時~20時
 - ▼ところ 福岡県筑豊労働者支援事務所(飯塚市)
 - ▼対象者 労働者、事業主どちら

- ### 女性のための無料相談会
- ▼とき 3月5日(日) 10時~15時
 - ▼ところ 立岩公民館(飯塚市)
 - ▼内容 離婚、DV、多重債務、遺産相続、人権問題など
 - ▼定員 20人(事前予約者優先)
 - ▼予約期間 平日10時~16時
- ☎ 筑豊京築総合相談センター (☎ 44-2530)

- ### 相談
- 2月は「相談登記はお済みですか」
 - 2月1日(日)~29日(日)



- ### 相談登記はお済みですか 無料相談会
- 福岡県筑豊労働者支援事務所 (☎ 0948-22-1149)
 - 相談方法は「面談または電話」
 - ※予約不要、相談無料。秘密は厳守されます。一人で悩まず相談してください

お知らせ

- 平日 9時~17時
 - 土日祝日 10時~12時
 - ▼ところ 平日 県内各地会員事務所 土日祝日 福岡県司法書士会館(福岡市)
 - ▼相談方法 面談
 - ※要予約。土日祝日は1日3組まで(相談時間40分)です。
- ☎ 福岡県司法書士会 (☎ 092-722-4131)

「ゆふいんの森号」日田英彦山線を走る

ゆふいんの森号が添田町を走り抜けます。

第22回 添田町長杯囲碁大会



- ▼とき 2月18日(日) 池尻駅12時50分発→歓遊舎ひこさん駅13時5分着、歓遊舎ひこさん駅14時10分発→採銅所駅14時50分着
- ▼JR九州旅行小倉支店団体営業センター (☎ 093-588-2512)
- 年齢制限はありませんので、どなたでもお気軽に参加ください。
- とき 2月7日(日) 11時45分~(受付11時~11時30分)
- ところ そえだジョイ
- 参加資格 町内在住または在勤者
- 申し込み・問い合わせ 金森幸雄さん(町三) / ☎82-1933 宮田昭秋さん(町一) / ☎82-1472 伊藤公輔さん(町四) / ☎82-0879

今川流域市町村連絡協議会 第2回環境講演会

- ▼とき 2月13日(日) 受付14時、開始14時30分
 - ▼ところ みやこ町中央公民館
 - ▼講師 福岡県保健環境研究所 中島淳氏
 - ▼テーマ 「今川と魚たち」
 - ▼入場料 無料/申込不要
- ☎ 役場保健福祉環境課環境係 (☎ 82-1232)

ありがとうございました (敬称略)

- 添田町社会福祉協議会へ
- ▼香典返し
- ▼松田竹男(上津野)
- ▼江藤博伸(下落合)
- ▼渡邊重信(下中元寺)
- ▼宇佐見正生(町)

おわびと訂正

- 広報そえだ1月号14ページの「まちのホットNews」の内容に誤りがありましたので、おわびして訂正いたします。
- 【誤】添田中学校2年生の石谷碧里さん
- 【正】添田中学校3年生の石谷碧里さん

相談

困りごと相談出張相談会

くらしの中の困りごとをお聞かせください。

- ▼とき 2月25日(日) 10時30分~13時30分
- ▼ところ 添田町役場1階第3会議室
- ※相談無料、秘密厳守。
- ※当日相談も受け付けますが、事前の予約をお願いします。

☎ 福岡県自立相談支援事務所 (☎ 0930-26-7705)

2016油木ダム桜ウォーキング大会

参加者募集

とき ▶ 4月3日(日) 開会式 9時30時~

集合 ▶ 津野小学校グラウンド

受付 ▶ 8時30分~9時30分

定員 ▶ 先着500人

コース ▶ 6キロ、15キロ

参加費 ▶ 大人1,500円、小学生以下500円

※記念品・昼食代・保険代を含みます。

申し込み期限 ▶ 2月29日(日)必着

参加申込書に必要事項を記入しFAX・郵送・持参のいずれかで提出してください。後日、振込用紙を送付しますので、参加費の振り込みを行ってください。入金をもって申し込みが完了となります。

※参加申込書と大会チラシは、役場まちづくり課で配布、または町ホームページからダウンロードできます。

※参加費は返金できませんのでご了承ください。また、別途振込料がかかります。

※第2駐車場は津野小学校から約1キロ離れた場所です。ご了承ください。

●申し込み・問い合わせ 役場まちづくり課施設推進係 (☎ 82-5965 / FAX 82-2869)



発行/添田町 編集/情報広報課
〒824-0691 福岡県田川郡添田町大字添田 2151 番地
☎0947-82-1231 光電話 050-6621-4309 FAX0947-82-2869
ホームページ http://www.town.sosedai.tukuoka.jp

Photo Contest 美しい自然、歴史あふれるまち「添田」魅力発見

第20回 添田町フォトコンテスト 入賞作品決定



●風景部門特選/夕闇に映える (撮影地・落合)
松永次男さん (嘉麻市)



●イベント部門特選/祈り (撮影地・英彦山)
貞野律子さん (直方市)

町内の自然やイベントをテーマにした添田町フォトコンテストの審査が行われました。応募作品197点の中から、風景部門で特選1点・秀作6点・入選7点、イベント部門で特選1点・秀作4点・入選7点、またスマホ部門で入選1点の入賞作品が決定しましたので、ご紹介します。

- 風景部門【秀作/6点】▶身深豊志 (糸田町) ▶橋本英明 (岡垣町) ▶千田一弘 (添田町) ▶入江弘子 (宮若市) ▶白石淳二 (田川市) ▶黒水律子 (北九州市) 【入選/7点】▶遠藤晴世 (北九州市) ▶山本一義 (添田町) ▶吉山彰彦 (田川市) ▶福原良一 (佐賀県基山町) ▶鹿島和生 (福岡市) ▶黒木丸生 (下関市) ▶熊崎芳彦 (広島市)
- イベント部門【秀作/4点】▶松永直子 (嘉麻市) ▶高瀬重信 (大野城市) ▶木下武 (川崎町) ▶河野勉 (北九州市) 【入選/7点】

- ▶綴木靖彦 (北九州市) ▶上原敬子 (糸田町) ▶武田秀一 (嘉麻市) ▶石村國男 (宗像市) ▶高山千恵子 (北九州市) ▶谷やすし (北九州市) ▶岩重正敏 (北九州市)
 - スマホ部門【入選/1点】▶本田清美 (田川市) /順不同・敬称略
- ※入賞作品は、英彦山スロープカー花駅内のオープンギャラリーで展示しています。町ホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。
- ☎ 役場まちづくり課観光係 (☎ 82-1236)

町長室 広報そえだ

▼早いものでもう2月。毎年同じような書き出しで始まります。変わり映えしないのかなと思いつつも、周りを見渡すと少し、変化が見られます。▼英彦山が再び、脚光を浴びていますし、添田町の高齢者は元気が良いと評判になっています。▼めんべいのグラウンドも(株)山口油屋福太郎による整備が始まりました。まもなく新卒女性が10数名入社し、添田町に在住します。今後、年々増やして40名近く採用したいとのことです。▼若者向け定住促進住宅の添田ファミリー団地も建築が進んでいて、春には、子どもたちの元気な声が聞かれそうです。▼しかし、それでも人口減少は進んでいます。添田町の良さをもっとアピールしなければ、雇用促進も所得増大も考えると夜も眠れません。▼そんな矢先、マルボシ酢(株)の会長ら幹部の方とお話しする機会がありました。「お酢で健康マルボシ酢」のコーシヤルで有名な九州・福岡を代表するこだわりの食品会社です。川崎町に(株)アスキーという会社を立ち上げ、柚子など柑橘類の果汁を搾り、商品開発しています。▼そこで使われる柚子のほとんどが韓国からの輸入だそうです。わざわざ輸入して、もったいないと思いませんか。すぐ近く、目の先にいっぱいあるのにと思いませんか。そう話すと「持ってくれば買います。柚子は皮から果汁まで芳香も栄養も満点で、今は需要にまかないきれいでない」とのことでした。それならと話をしたところ、興味を示してもらいました。▼しかし、柚子は収穫が大変です。多くを提供するには、皆さんの分を集めて回らなければなりません。課題も多くあります。それらの課題をクリアすべく、現在検討中です。柚子を柚子胡椒だけで、今のまま捨てておくのか、少しでも育てたものを活用するか。今回は残念でも、今年の実りの時まで考えてみませんか。皆さんもお知恵をお貸し下さい。▼柚子の植樹にも話が及びました。耕作放棄地に植えてみてはどうかと、ふと考えました。たわいもない事かもしれませんが、柚子は、添田町に古くから育っている木です。先人からの贈り物を活用し、次の世代に受け継ぐことも考えられるのでは、と思った2月です。

◆印刷/九五印刷株式会社
※広報そえだは再生紙を使用しています